

変更後の認定事業適応計画の内容の公表

1. 変更認定をした日付

令和4年2月22日

2. 変更後の認定事業適応事業者の名称

宝酒造株式会社

3. 変更後の認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

近年、気候変動問題への対応を成長の機会ととらえる国際的な潮流が加速している。我が社においてもこうした流れに対応し、企業としての価値を高めて行くべく、製品の製造時に排出されるCO₂を減少させていくことで付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていく。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2021年度より事業適応を開始し、2023年度(目標年度)までに楠工場の炭素生産性を42.3%、島原工場の炭素生産性を39.7%向上することを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2023年度(計画終了年度)に経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の種類

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業(日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード)

飲料・たばこ・飼料製造業(10)

(選定の理由)

計画の対象となる事業は主に酒類を製造するものであるため。

(6) 事業適応の具体的内容

・楠工場

計画初年度の2021年度では、重油貫流ボイラー6基をガス貫流ボイラー6基に更新する。燃料を重油からガスに転換する事によりCO₂排出量を減少させることが可能であり、炭素生産性を向上させていく。2023年度には、過去1年間のボイラー燃焼管理データを活用し、台数制御設定を最適に設定することにより、CO₂排出量を一層減少させる。

これに加え、電力会社の変更による電力使用に伴うCO₂排出量の減少により、目標年度における楠工場の炭素生産性を42.3%向上させる。

- ・島原工場

計画初年度の2021年度に、液化天然ガス（LNG）を気化させるための天然ガス製造設備を工場内に設置するとともに、既設ボイラーを天然ガス仕様に改造するための工事に着手する。

2022年7月の工事完了後、ボイラーの燃料をA重油から液化天然ガス（LNG）に転換することにより、2022年7月からCO₂排出量を減少させることが可能であり、これにより、目標年度における島原工場の炭素生産性を39.7%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022年1月、終了時期 2024年3月